

令和3年度事業報告書

令和3年7月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂

1 事業の成果

令和3年度は、中期ビジョン『つながる』『つなげる』『仲間と拓く』新潟の防災教育を、みな（学校・地域・家庭・行政・企業・NPO等）で創るふるさと共育にする」の実現に向けて、引き続き以下の3点を重点に様々な活動に取り組んだ。

- ・ より一層の連携・協働を進め、共感の輪を「ふるさと共育化」への推進力にする
- ・ 地域の教育力を結集し、学校防災教育をまちで支える仕組みを創る
- ・ よりよい未来の新潟を子どもと一緒に創る仲間を増やす

終息が見通せない新型コロナウイルス感染症の再拡大に備え、様々な補助金を活用し、検温・消毒・換気等の対策強化とICTの活用に一層注力した。加えて、換気のよい場所に出向き、人が生活の営みの中で防災・減災を学べる機会をつくるために車をラッピング加工する等、普及啓発と情報発信の在り方について新しいチャレンジを試みた。

また、令和2年度に取得したSDGs認定エデュケーター資格を活かして、民間企業とSDGsをテーマにタイアップすることができた。これまでの福祉・人権同和・国際理解・環境と防災に関連させたプログラム開発や実践に加えて、世界が一体的に取り組む目標であるSDGsも積極的に取り入れ、結果的に防災にもつながるプログラムの開発や、よりよい未来を創る活動として、力を入れていく。令和3年度に実施したふるさと未来創造堂の事業詳細については、別紙のとおり。

① 学校防災教育の支援事業

1) 地域防災教育事業（長岡市） 【継続】

校区内に居住する学校の理解者としてのサポーター育成を進め、市内82校中72校に、サポーター（24名）を配置することができた。長岡版マイ・タイムライン「わが家の防災タイムライン（小学4～6年生用、中学生～大人用）」の改定及び普及啓発を行った。

2) 南区中学校防災教室及び白根高校防災学習支援業務（新潟市南区） 【継続】

区内の中学校及び白根高校を対象に、地域と連携した防災教育を実践した。今年度も新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナとする。）拡大の影響を受け、学校によっては地域住民を巻き込む活動を見合わせた。白根高校での活動も中止となり、事業が縮小した。

3) 西蒲区巻東中学校・巻西中学校防災体験学習及び西蒲区中学校防災体験学習及び事業の中間評価のための調査業務（新潟市西蒲区） 【継続】

「福祉×防災」の視点での防災教育を地域の大人・防災士と中学生が共に学ぶ機会の提案とコーディネート、事業の中間評価を行った。持続可能な取組にしていくための課題等について実践校にヒアリングを行い、機会のコーディネートと区在住のサポーター情報の整理・派遣の仕組みが必要になってきた。西蒲区防災士の会メンバーにアンケートを行い、サポーターの一人一人ができること等を整理した。

- 4) 防災ワクチン TM 学習教材の開発支援業務（国立大学法人 長岡技術科学大学）【新規】
通電火災による二次災害の軽減と被災地域の回復力を高める教材として、長岡技術科学大学と東京電力が開発したブレーカー実験キットを学校等で活用していくために、指導者用教材資料の作成支援を行った。

② 地域及び家庭の防災教育支援事業 【継続】

- 1) コミュニティ協議会や自治会、地域住民を対象に、洪水マイ・タイムラインの作成講座やタイムラインの考え方、災害時の感染症対策の普及啓発を行った。
- 2) 自治体や社会福祉協議会の事業にて、親子を対象としたオンライン防災講座（パッキングの体験）を計 2 回 24 名に実施した。
- 3) 子育て支援施設にて、母子向けの防災講座を実施した。

③ 防災教育の推進に関する交流・イベント事業

- 1) イザ！カエルキャラバン in ながおかの開催（長岡市）【継続】
非日常の防災をいつも（日常）の防災にすることを目指して、親子で楽しみながら体験的に防災を学べる機会を開催し、小学生スタッフを含め約 80 人がイベントに参加した。
- 2) 川口きずな館 防災イベント企画運営支援（長岡市）【新規】
中越大震災メモリアル施設から親子向けの防災講座の企画や運営方法について相談を受け、親子が楽しみながら防災について学べる体験型のイベントの企画・運営支援を行った。
- 3) 北区自治協議会提案事業「めざせ！地域防災力向上！」運営支援（新潟市北区）【新規】
親子世代が楽しみながら防災・減災について学べるイベントを新しい防災訓練の考え方として地域に波及させていくことを目指して、自治協議会委員を対象とした研修会及びイベント当日の運営をサポートした。終了後、市民への広報用報告書及び活動紹介パネルを作成した。

④ 安心安全なまちづくり及び地域づくりの支援事業

- 1) 新潟市北区防災士の会スキルアップ事業（新潟市北区）【継続】
北区防災士の会の計 4 回の意見交換会の企画運営を行い、昨年度に完成した北区河川別ハザードマップの住民説明用の資料データを作成した。今後は、区と防災士と一緒に地域に出向き、河川別ハザードマップの説明や地区防災計画の作成を支援していく。
- 2) 在住外国人防災ワークショップ（長岡市）【新規】
長岡市の在住外国人と日本人とが一緒に学ぶ防災講座を実施した。令和 3 年度に完成した多言語版の洪水ハザードマップを活用したワークショップや家庭での備え、避難所の防災備蓄について皆で学ぶ機会を実施した。外国人と日本人の交流機会を通して、参加した日本人に支援者意識の芽生えを感じる場面も見られた。
- 3) うおぬま防災ネットワーク防災研修会・訓練運営支援（魚沼市）【新規】
魚沼市内の自治会長等を対象に、避難所開設訓練を行うための事前勉強会及び訓練当日の講師と活動のサポートを行った。事前勉強会では魚沼市の運営マニュアルを参考に、市の防災備蓄を住民と一緒に組み立てや、受付方法等の学習・体験会を行い、訓練当日はうおぬま防

災ネットワークが主体となつて行う住民への説明や講座を支援した。

⑤ よりよい未来を創る事業

1) こども防災未来会議®2021 及びかべ新聞展示会の開催（長岡市） 【継続】

新型コロナ対策を徹底し、防災について学んだ子どもの成果発表と交流、創造の機会をオンラインとオフラインのハイブリッド形式のイベントとして開催した。応募作品数は 96 点となり、いかなる状況下でも学びの成果を発信する機会の必要性を実感した。

2) 分水サミット企画書作成 【新規】

令和 4 年 8 月に通水 100 周年となる大河津分水。県内の信濃川流域（支流含め）市町村で川について学んだ学校を集めて開催する記念事業に関する意見交換の場づくりと企画案の作成を行った。

3) 企業と連携した SDGs 講座の企画・実施 【新規】

県内小学校の修学旅行にて、エネルギー事業者と子どもが未来のエネルギーについて考えるワークショップを企画し、実施した。これがきっかけとなり、同事業者における小学生向け出前講座用プログラム 2 種（防災編・SDGs 編）の開発事業の獲得につながった。

⑥ 情報発信事業

1) 動画コンテンツの作成・配信、情報発信支援 【継続】

昨年に引き続き、(株) エヌ・シー・ティと共同で防災に関する動画コンテンツの作成・配信を行った。当法人のメーリングリストを活用した、企業の防災・減災に関する情報発信支援事業を行った。

2) 商業施設等を活用した移動販売や出前講座（長岡市） 【新規】

介護食品メーカーの協力を得て、大型商業施設の駐車場にて、来場者を対象とした非常食のランチ販売や防災・減災の普及啓発活動を行った。

次年度も安心・安全なよりよい未来の新潟を創るひとづくり・地域づくり・まちづくりのアプローチを多面的・多角的に提案する「ふるさと共育」を、教育や防災関係者、まちづくりに携わる関係者等と検討する 1 年にしていく。

2 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額
①学校防災教育 の支援事業	1) 地域防災教育 事業	1) ～ 5) 年度当初か ら年度末	1) 長岡市	5 人	1) ～ 5) 県内外 の小・中学校、高 等学校の教員及 び子ども、保護 者、地域住民、防 災・教育関係団体	4,005

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
	2) 南区中学校防災教室及び白根高校防災学習支援業務		2) 新潟市	3 人		348
	3) 西蒲区中学校防災体験学習及び事業の中間評価のための調査業務		3) 新潟市	3 人		1,726
	4) 防災ワクチン TM 学習教材の開発支援業務		4) 長岡市	2 人		1,061
	5) その他事業		5) 全国	3 人		914
②地域及び家庭の防災教育支援事業	1) 各種講座	1) 年度当初から年度末	1) 県内	3 人	1) 県内の未就学児、小・中学生、保護者、地域住民、防災・教育関係団体 等	319
③防災教育の推進に関する交流・イベント事業	1) イザ！カエルキャラバン in ながおか	1) 年度当初から年度末	1) 長岡市	4 人	1)、2) 長岡市内の幼・保育園や小学校に通う児童と保護者等	352
	2) 川口きずな館 防災イベント企画運営支援	2) 年度当初から令和 3 年 10 月	2) 長岡市	4 人		147
	3) 北区自治協議会 提案事業「めざせ！地域防災力向上！」運営支援	3) 年度当初から年度末	3) 新潟市 北区	4 人	3) 新潟市北区の子ども、保護者、地域住民	573
	4) その他		4) 長岡市	4 人	4) 長岡市の子ども、保護者、地域住民	220

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
④安心安全なまちづくり及び地域づくりの支援事業	1) 新潟市北区防災士の会スキルアップ事業	1) ～3) 年度当初から令和3年10月	1) 新潟市北区	2人	1) 新潟市北区の防災士、地域住民等	352
	2) 在住外国人向け防災ワークショップ		2) 長岡市	3人	2) 長岡市の外国人、地域住民、専門学生、大学生等	110
	3) うおぬま防災ネットワーク 防災研修会・訓練運営支援		3) 魚沼市	4人	3) 魚沼市の防災士及び地域住民等	215
	4) その他講座等	4) 年度当初から年度末	4) 全国	3人	4) 県内外の大学生、地域住民、防災・福祉関係団体等	110
⑤よりよい未来を創る事業	1) こども防災未来会議 [®] 2021及びかべ新聞展示会の開催	1)、2) 年度当初から年度末	1) 長岡震災アーカイブセンターきおくみらい他	16人	1) 県内の小・中学校の教職員と児童生徒、保護者、地域住民、防災・教育関係団体等	1,084
	2) 分水サミット 企画書作成		2) 県内	2人	2) 防災・教育関係団体等	444
	3) その他講座	3) 年度当初から令和3年11月まで	3) 新潟市	1人	3) 県内の小学6年生、企業、社会教育施設等	59
⑥情報発信事業	1) 動画コンテンツの作成・配信、情報発信支援	1)、2) 年度当初から年度末	1) 全国	3人	1)、2) 子ども、保護者、地域住民、防災・教育関係団体・企業等	200
	2) 商業施設等を活用した移動販売等		2) 県内			78

参考資料 1 サポート実績一覧（2021. 7. 1～2022. 3. 31）

学校（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）及び教育委員会等

○防災教育等に関するサポート 204 校 8 団体

講座、研修会等 55 回

打合せ、相談、コーディネート等 156 回

国立青少年教育振興機構（新）	新発田市教育委員会 生涯学習課	新発田市青少年宿泊施設 あかたにの家
上越市教育委員会 学校教育課	長岡市教育委員会 学校教育課	長岡市教育委員会 中央公民館
新潟市教育委員会 学校支援課	村上市教育委員会 生涯学習課 （新）	新発田市立の全 15 小学校
上越市立の全 70 小・中学校	長岡市立の全 82 小・中学校	糸魚川市立糸魚川小学校（新）
糸魚川市立青海中学校（新）	魚沼市立堀之内中学校	三条市立第四中学校
三条市立月岡小学校（新）	三条市立保内小学校	胎内市立黒川小学校
燕市立小池中学校	新潟市立味方中学校	新潟市立岩室中学校（新）
新潟市立臼井小学校	新潟市立臼井中学校	新潟市立漆山小学校（新）
新潟市立小林小学校（新）	新潟市立小針中学校	新潟市立白根北中学校
新潟市立白根小学校（新）	新潟市立白根第一中学校	新潟市立曾根小学校（新）
新潟市立月潟中学校	新潟市立中之口中学校	新潟市立西川中学校（新）
新潟市立白山小学校	新潟市立白南中学校	新潟市立巻西中学校
新潟市立巻東中学校	新潟市立巻南小学校（新）	新潟市立升潟小学校（新）
新潟市立鎧郷小学校（新）	新潟県立新潟県央工業高等学校 （新）	新潟大学附属長岡小学校
見附市立今町小学校	見附市立今町中学校（新）	見附市立葛巻小学校
見附市立新潟小学校（新）	見附市立見附小学校	栃木県那須町立那須中学校（新）

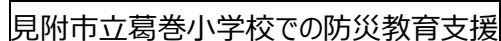
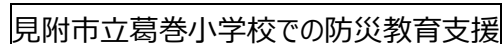
地域・団体・企業等

○地域防災や防災教育の相談、講師、イベント、研修会等 32 団体 延べ 70 回以上

越後天然ガス株式会社（小学生向け SDGs ワークショップの企画・実施、出前講座プログラムの相談）（新）
株式会社エヌ・シー・ティ（子ども向け防災教育映像の共同作成）
株式会社エコロジー・サイエンス（分水サミット企画書作成）（新）
京都女子大学発達教育学部・教育学科（東山区住民の防災力向上支援プロジェクトの支援・講義）（新）
（公社）中越防災安全推進機構（中越大震災メモリアル基金事業）
国土交通省信濃川河川事務所（分水サミット企画書作成）（新）
胎内市総務課（令和 3 年度 胎内市防災セミナー・個別避難計画策定キックオフセミナー）
つくばサイエンス・アカデミー SAT テクノロジー・ショーケース 2022 実行委員会
（特別講演・パネル討論）（新）
東京電力ホールディングス株式会社 新潟本部（学校・地域向けの防災教育の相談及びコーディネート）（新）
特定非営利活動法人村上 ohana ネット（保護者向け防災講演会）（新）
特定非営利活動法人多世代交流館になニーナ（災害時の情報の集め方・Zoom の使い方講座）
特定非営利活動法人くらしサポート越後川口（親子向け防災イベントの実施）（新）
長岡技術科学大学（防災ワクチン TM 学習教材の開発支援業務）（新）
長岡市国際交流センター（在住外国人向けの防災講座）（新）
長岡市子育ての駅 すこやか・たんぽぽ・もりもり・やまっこ（母子向け防災講座）
新潟県防災局防災企画課、新潟市危機防災課（オンラインでの親子向け防災クッキング講座）（新）
新潟市秋葉区社会福祉協議会（オンラインでの親子向け防災クッキング講座、市民向け防災講座）
新潟市北区太田地域コミュニティ協議会（洪水ハザードマップに関する研修会）（新）
新潟市北区地域総務課（北区防災士の会スキルアップ事業、自治協議会防災イベント事業の相談・提案）
新潟市北区豊栄地区公民館（コミュニティコーディネーター養成講座）
兵庫県立大学院大学院減災復興政策研究科（講義）
ホリカフーズ株式会社営業部（親子向け防災イベントでの連携、学校とのコーディネート）
長岡市青葉台地域連合自主防災会（青葉台中学校区 合同防災訓練の企画支援）
長岡市宮本地域連合自主防災会（青葉台中学校区 合同防災訓練の企画支援）
長岡市大積地域連合自主防災会（青葉台中学校区 合同防災訓練の企画支援）
長岡市青葉台コミュニティセンター（青葉台中学校区 合同防災訓練の企画支援）
水澤電機株式会社（防災ワクチン TM 学習教材の開発支援業務）（新）
メイドインにいがた 防災・新型コロナ対策展実行委員会（映像防災コンテンツの情報発信支援）（新）

1) 学校の防災教育支援事業

燕市立小池中学校での防災教育支援



NPO 法人 ohana ネット ～災害をわが事に～子どもと自分自身の命を守るための防災講演会



3) 防災教育の推進に関する交流・イベント事業

長岡 親子で防災イベント

親子で遊びを通して防災意識を深めてもらうイベントが、長岡市川口中山の「川口きずな館」で開かれた。万が一に備え、消火の練習や防災グッズ作りに挑戦した。

NPO法人「くらしサポート（後川口）」が、防災教育に携わる市内のNPO法人と連携して、親子で遊びを通して防災意識を深めてもらうイベントが、長岡市川口中山の「川口きずな館」で開かれた。万が一に備え、消火の練習や防災グッズ作りに挑戦した。

参加した22人は、スーパのレジ袋を使った三角巾（トート後川口）が、防災教育に携わる市内のNPO法人と連携して、親子で遊びを通して防災意識を深めてもらうイベントが、長岡市川口中山の「川口きずな館」で開かれた。万が一に備え、消火の練習や防災グッズ作りに挑戦した。

親子が「防災への意識を高めたワークショップ」=5日、長岡市

北区 防災知識楽しく学ぶ

親子で防災を学ぶイベント「ジャッキアップゲーム」では、菱風荘が開かれた。参加した親子17組は、地震で揺れた家の中を、防災の知識を駆使して、救出するゲームを体験した。

親子で防災を学ぶイベント「ジャッキアップゲーム」では、菱風荘が開かれた。参加した親子17組は、地震で揺れた家の中を、防災の知識を駆使して、救出するゲームを体験した。

親子で防災を学ぶイベント「ジャッキアップゲーム」では、菱風荘が開かれた。参加した親子17組は、地震で揺れた家の中を、防災の知識を駆使して、救出するゲームを体験した。

新潟日報 2021/9/6 朝刊 **防災体験教室**

新潟日報 2021/11/16 朝刊

親子でわくわく！

あそんでまなぼうさい！！in 菱風荘

4) 安心安全なまちづくり支援事業

外国人に水害時対応説明

4言語のハザードマップ活用 長岡

水害から身を守る方法を学ぶ外国人が、長岡市で集まった。水害から身を守る方法を学ぶ外国人が、長岡市で集まった。

水害から身を守る方法を学ぶ外国人が、長岡市で集まった。水害から身を守る方法を学ぶ外国人が、長岡市で集まった。

水害から身を守る方法を学ぶ外国人が、長岡市で集まった。水害から身を守る方法を学ぶ外国人が、長岡市で集まった。

新潟日報 2021/7/16 朝刊

外国人向け防災ワークショップ

長岡新聞 2021/7/22

外国人向け防災ワークショップ

外国人向け防災ワークショップ開催

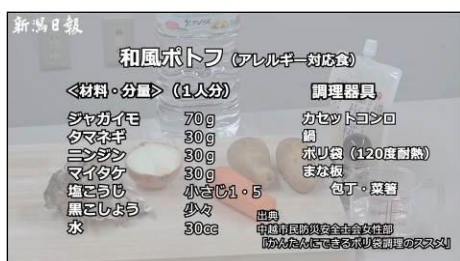
自分の命は自分で守ろう

ハザードマップで一緒に学ぶ

外国人向け防災ワークショップ開催。自分の命は自分で守ろう。ハザードマップで一緒に学ぶ。

外国人向け防災ワークショップ開催。自分の命は自分で守ろう。ハザードマップで一緒に学ぶ。

外国人向け防災ワークショップ開催。自分の命は自分で守ろう。ハザードマップで一緒に学ぶ。



こども防災未来会議®2021



NHK 2021/11/9 ニュース 610、11/10NHK 総合ニュース

BSN 2021/11/10 ゆうなび、TeNY 2021/11/25、FM にいがた 2021/11/12

初の官民連携で SDGs in 修学旅行



その他



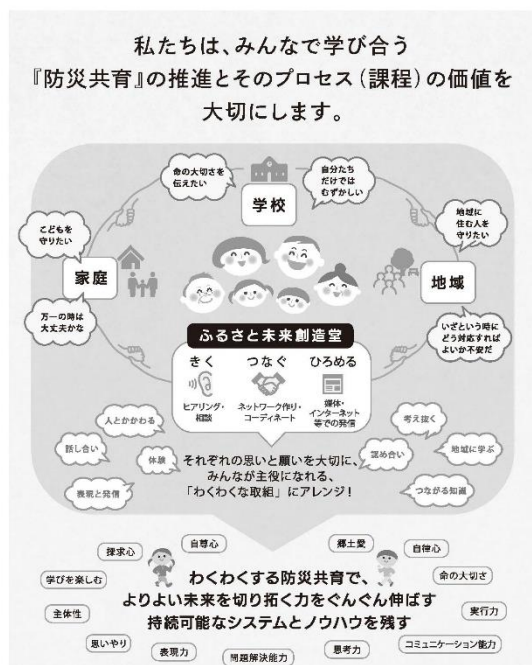
自ら未来を切り拓き 社会を生き抜く ひとつづくり

私たちは、わくわくする「防災共育」をきっかけに、地域一体での教育・災害社会の創造を目指すNPO法人です。
防災を「自然環境と命を題材に、地域をより深く学び、郷土愛を深める学習」とした教育は、一人一人の防災意識を
高めるだけでなく、変化の激しい社会を生き抜く「未来を切り拓く力」の育成につながると思います。
皆が主体的に学び合い、取り組む「よりよい未来を創る防災共育の推進」から、教育による地方創生を目指します。

NPO法人
ふるさと未来創造堂

2022/8/26

産経新聞 東海・北陸版



令和2年度
実績
新潟県内を中心に202校、39団体の防災共育をサポート！
講座・研修会など多数開催。詳細はHPをご覧ください！



NPO法人
ふるさと未来創造堂

〒950-0034 新潟県長岡市堀川3-4-29
TEL:0258-94-6119 FAX:0258-94-4582
E-MAIL:info@furusato-mirai.com
HP:https://www.furusato-mirai.org/



わくわく 紹介！
防災共育プログラム

防災避難訓練 10Mx10Mの正方形の敷地、350名程度の児童が参加する防災避難訓練。各学年、各クラス、各グループに分かれて、避難訓練を行います。	川体運動 水辺の安全を学ぶための、水辺での運動。水辺での安全を学ぶための、水辺での運動。
避難所体験 避難所体験。避難所体験。避難所体験。	防災グッズ作り 防災グッズ作り。防災グッズ作り。防災グッズ作り。
避難所の開設や 避難所の開設や。避難所の開設や。避難所の開設や。	サバイバルクッキング サバイバルクッキング。サバイバルクッキング。サバイバルクッキング。
防災レクリエーション 防災レクリエーション。防災レクリエーション。防災レクリエーション。	防災キャンプ 防災キャンプ。防災キャンプ。防災キャンプ。
避難所体験 避難所体験。避難所体験。避難所体験。	語り部の派遣 語り部の派遣。語り部の派遣。語り部の派遣。

令和3年度（特非）ふるさと未来創造堂の実施事業

1. 学校防災教育の支援事業

<地域防災教育事業委託>

委託機関：長岡市危機管理防災本部

実施期間：令和3年7月～令和4年3月

長岡市では、学校の負担軽減と地域と連携した持続可能な防災教育の推進を目指している。防災教育を行う際に参考になるプログラムや資料などが入っているコンテンツ「防災玉手箱」を平成29年に市内全小・中学校に設置。同時に、地域のサポーターが定期的に学校を訪問する仕組み作りや、講師派遣・授業計画時の相談等の総合窓口を当法人で担当している。

防災士、地域の保護者等、立場が様々な方が皆で学校防災教育をサポートする形を継続して5年。毎年行う学校訪問が

地域と顔の見える関係性の構築し、担当教員の交代や異動後もサポートを受けながら取組の継続・発展につながってきている。

また、令和2年度に作成した長岡市版マイ・タイムライン「わが家の防災タイムライン【小学生版】」の改訂と新たに【中学生～大人版】を作成した。

長岡市マイ・タイムライン「わが家の防災タイムライン」を作成しよう！

1. 家族の防災マップ（洪水災害のとき）

2. 川があふれたときの家の様子は？

3. 自分の家の特徴を把握

4. あなたと家族の避難行動は？

5. 洪水災害に備える！長岡市版マイ・タイムライン「わが家の防災タイムライン」を作成しよう！

家族の防災マップ

避難経路

避難場所

避難行動

あなたの家の「適切な早期の避難行動」は？

1. 洪水発生時の避難行動

2. 避難行動のチェックリスト

避難行動のチェックリスト

洪水発生時の避難行動

令和3年度に作成した
わが家の防災タイムライン
【中学生～大人版】

長岡市立与板中学校 洪水から逃げるタイミングは？川ごとに確認！「洪水マイ・タイムライン」を作成しよう！



令和3年11月4日（木）14:05～15:55 対象：全校生徒（160名）
縦割り班で協力し、段ボールを使った「トイレ」「パーテーション」「ベッド」「更衣室兼授乳室」の組み立て体験を8名の長岡市防災教育サポーターと共に実施した。
体験後、学校所在地域にお住いのサポーターから「人のために行動するためにも、まずは自分一人でも命を守れるように今日の学習をきっかけに考えてください」との声をいただいた。

長岡市立栃尾東小学校 平成 16 年 7.13 水害時の体験談を聞こう



令和 3 年 10 月 7 日（木）10：40～11：25 対象：第 4 学年（53 名）
平成 16 年（2004 年）に発生した 7.13 水害発生時の栃尾東小学校区の被害、その時の住民の行動や気持ちについて、当時の栃尾地域の写真を見せながら体験談を伝えていただいた。

また、長岡市防災教育サポーターから自宅にある土のうを持ってきていただき、子どもたちは浸水を防ぐ土のうの実物を持ち上げる体験も実施した。

<新潟市南区内中学校防災教室及び白根高校防災学習支援業務>

委託機関：新潟市南区地域総務課

実施期間：令和 3 年 7 月 ～ 令和 4 年 3 月

南区内の中学校及び白根高校の生徒が災害時に地域の一員として活躍する姿を目指して、防災面における自助・共助・公助についての学習、体験する場を設けた。

6 中学校の防災教室は、「地震」「水害」「火災」など各学校の学習テーマに合わせて協議のうえ決定した。

白根高校防災教室は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止となった。

新潟市立味方中学校 自然災害に備える！中学生としてできることは？（ダンボールベッド・ポップアップテント組み立て）

令和 3 年 7 月 10 日（土）8：25 ～ 9：15 対象：全校生徒（74 名）



洪水災害からの身の守り方、避難所の様子や感染症対策、避難所運営について学習した後、グループに分かれ交代して 2 つの体験を行った。

過去の被災地での中学生の活躍事例から、災害から自分と家族の命を守った後は、避難所や避難生活の中で中学生にできることが沢山あることを伝えた。

【参加者の声】

・過去に中之口川が氾濫しそうだったことを初めて知った。もし災害が起きたら今日学んだことを活かして、避難所で大人と協力して対応していきたい。

・災害時に同年代が活躍していることを知り、避難所にいったら自分にできることを率先して手伝いたい。

<西蒲区巻東中学校・巻西中学校防災体験学習委託業務>

委託機関：新潟市西蒲区地域総務課

実施期間：令和 3 年 7 月 ～ 令和 4 年 2 月

西蒲区は 8 区で最も高齢化率が高く、2031 年には高齢化率が 37.8%になると予想されている。そのため、地域の未来を担う中学生への防災教育に力を入れ、学校・地域・家庭が連携し、継続していける防災共育の内容と支援体制を検討する。

令和 3 年度は新潟市立中之口中学校、西川中学校、巻東中学校、巻西中学校の生徒を対象に、体験型防災学習プログラムの体験を通して、地域の高齢化に対する対策や災害時の避難行動要支援者となる高齢者や肢体不自由等の障がいを持つ方に対し、自分にできることを考える学習を実施した。

また、学習効果及び地域に根差した防災教育を持続可能にしていく際の課題を整理し、地域の教育資源（人材）の整理及び西蒲区における持続可能な防災教育支援体制について提案を行った。

新潟市立中之口中学校 なか中防災の日の企画・学習支援

(洪水ハザードマップ、避難所運営ゲーム HUG、防災備蓄の紹介、防災給食の体験 等)



令和3年7月2日(金) 8:40~13:00 対象: 全校生徒(127名)

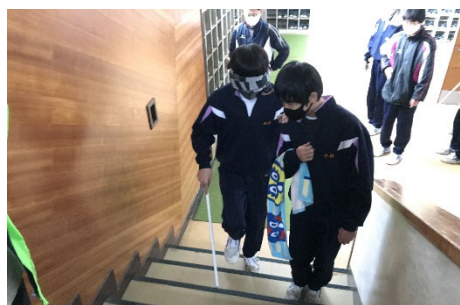
各学年の総合的な学習の学習の時間のキックオフに位置付け、全校縦割りでの防災学習を行った。

様々な学習支援の他、行政、防災士、学校支援ボランティアと連携し、防災備蓄や家庭の備えの展示、非常食の主食をアルファ化米にした防災給食の体験を行うことができた。また、話し合いや協力しなければ進められない活動を取り入れ、異学年との交流を深める機会にもなった。

【参加者の声】

- ・自分の住んでいるところの危険度をもっと詳しく知りたい。
- ・避難経路など避難所での行動、役立てることを追求したい。
- ・災害にあって避難所で、自分たちができないことがないかを調べたい。

新潟市立巻西中学校 「福祉×防災」の視点による防災体験学習(白杖体験・車いす操作体験)



令和3年12月1日(水) 13:30~15:10 対象: 第1学年(100名)

災害時の避難所の様子や避難所での感染症対策について学習後、「白杖を使用したブラインドウォーク・車いす操作体験」を2人1組で体験。西蒲区社会福祉協議会と連携し、視覚障がいの方や盲導犬と交流する場面を設定した。また、地域の防災士とも連携し、福祉視点での防災学習を実践することができた。

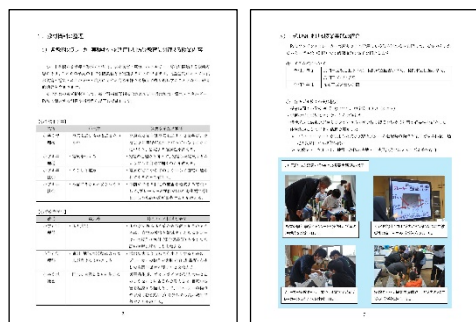
【参加者の声】

- ・一番ためになったのは、白杖ブラインドウォークの体験です。相手に合わせずに降りていたら逆に転んでしまったりするからです。もし災害が発生してしまったら、自分が最優先ではなく、目が見えない方、足が不自由な方を優先に避難させたい。
- ・もし災害が発生したら、その人に自分から手伝いましょうかと声をかけ、手助けができると良いと思いました。車椅子だったら優しくゆっくり押したり、視覚障害者だったら誘導してあげたりするなど、その人のためになることをして役に立てたら、色々な人が笑顔になれると思います。今日勉強したことを心がけて生活していきたいです。

<防災ワクチンTM 学習教材の開発支援業務>

委託機関: 国立大学法人 長岡技術科学大学

実施期間: 令和3年7月 ~ 令和4年2月



通電火災による二次災害の軽減と被災地域の回復力を高める教材として、長岡技術科学大学と東京電力が開発したブレーカー実験キットを学校等で活用していくために、モデル校の調整や実験キットへの助言、指導者用教材資料の作成支援を行った。

<その他学校防災教育支援業務>

委託業務以外での講師派遣や学習計画の相談・立案・資料提供などの支援業務 109校・1団体

- ・新発田市教育委員会「小学校防災キャンプ事前研修会」 新発田市立小学校 15校
- ・上越市教育委員会「防災教育研修会」 上越市立小・中学校 70校
- ・県内小・中学校 23校 ・栃木県那須町立那須中学校 ・新潟県立新潟県央工業高等学校
- ・国立青少年教育振興機構「令和3年度 全国中学生・高校生防災会議」

燕市立小池中学校

令和3年9月24日（金）8:40～10:30 対象：第3学年（61名）

防災道徳として「東日本大震災の教訓を活かす避難所運営シミュレーションゲーム「さすけなぶる」の考え方を取り入れたグループ学習を行った。



【参加者の声】

- ・目の前にある問題だけでなく、その背景にある問題も解決できるようにすることが大切なんだと気付いた。隠れた問題を解決するには人の声を聞かなくてはならないので、改めて人と人のつながりが大切だと感じた。
- ・想像力と創造力を働かせて、様々な問題を解決できるように、様々な意見や考えを聞き、素早く行動に移す大切さを学んだ。普段の生活にも活かしていきたい。

上越市教育委員会 令和3年度 防災教育研修会

令和2年10月28日（水）14:30～16:30 対象：上越市内小・中学校の管理職または防災教育担当職員

上越市教育委員会主催の防災教育研修会にて、ICTツールを活用し、洪水ハザードマップの見方を知り、マイ・タイムラインを考えるワークショップを実施した。



【参加者の声】

- ・5年生と川の学習の真ただ中。これから水害を扱うので、地域の土砂災害マップを詳しく見て、避難場所、自宅や道路が土砂災害にかかる可能性があるかなどの確認、川のライブカメラも紹介したい。その上でどうしたらよいか、話合わせてみようと思った。
- ・家族構成を想定したうえで話し合うことは、注意すべき点や避難の困難になるものが見えてきて、とても良かった。

見附市立葛巻小学校 イザ！カエルキャラバン in くずまき 開催支援



令和3年3月11日（金）13:45～15:30 対象：3、4年生の児童（144名）

見附市立葛巻小学校4年生が1年間の総合的な学習の時間での学びの成果を3年生に伝える機会として、学校と当法人の主催で「イザ！カエルキャラバン in くずまき」を開催した。

自分たちよりも下の学年に対し、防災の大切さが伝わるように様々な工夫を凝らし、皆が楽しみながら防災について学べる機会を実現した。

2. 地域及び家庭の防災教育支援事業

乳幼児のいる家庭向け防災講座を5施設で計6回、地域・大学に防災講座や研修会、親子向け防災講座等を計11回実施した。



- ・長岡市子育ての駅「ぐんぐん」「すこやか」「やまっこ」「もりもり」「たんぽぽ」 防災講座
- ・（特非）ohana ネット、村上市教育委員会 保護者向けオンライン防災講演会
- ・京都女子大学 地域連携プロジェクト 防災講演会、防災ワークショップ
- ・胎内市防災セミナー マイ・タイムライン講座、個別避難計画研修会
- ・新潟県防災企画課、新潟市危機防災局 親子向けオンライン防災講座
- ・新潟市秋葉区社会福祉協議会 夏休み親子向け防災講座
- ・新潟市有明町自治会防災訓練 防災講話
- ・新潟市葛塚コミュニティ協議会 防災講話
- ・新潟市豊栄地区公民館 地域絆事業防災講座
- ・兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 コミュニティ防災計画 講話



3. 防災教育の推進に関する交流・イベント事業

<長岡市中越メモリアル基金事業> イザ！カエルキャラバン！in ながおか

令和4年3月5日（土）13：30～15：30 会場：長岡震災アーカイブセンターきおくみらい・まちなかキャンパス長岡
対象：長岡市内の保育園・幼稚園・認定こども園・小学校に通う子どもと保護者（子ども23名・保護者16名 計39名）



フェイスシールドの着用等、感染症対策を徹底し、イベントを実施した。
1 プログラム体験ごとにカエルポイントがもらえるスタンプラリーを企画し、親子でカエルポイントを楽しく集めて、景品と交換した。

<防災体験プログラム>

- ・県内小・中学生発案！困っている人を助けよう（白杖体験）
- ・車のジャッキで助けよう！ ・ざいたくひなんグッズなあに？クイズ
- ・ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！
- ・防災カードゲーム「シャッフル」 ・カエルフェイスシールドづくり



【参加者の声】

- ・ジャッキでくまちゃんを助けてたのしかった！ちゃんと持ち上げられた！（子ども）
- ・点字ブロックの大切さ再確認できた。ブロックの上に駐車してある自転車がないかなど、気をつけて歩きたい。（保護者）
- ・避難グッズを用意した方がいいとは思っていたが、できていなかった。説明が聞けて良かった。そろえていきたい。（保護者）



<川口きずな館 防災イベント企画運営支援>

令和3年9月5日(日) 11:00~14:30 会場: 川口きずな館 対象: 長岡市内の中学生未満の子どもとその家族



中越大震災メモリアル施設川口きずな館から親子向けの防災講座の企画や運営方法について相談を受け、親子が楽しみながら防災について学べる体験型イベントの企画・運営支援を行った。イベント当日は、水消火器の体験、応急手当、防災カードゲーム等を行った。

新型コロナ禍のため、サポーター育成にまでは繋がられなかったため、次年度以降は関わりしるを増やせる仕掛けを創りたい。

<北区自治協議会提案事業「めざせ！地域防災力向上！」運営支援>

委託機関: 新潟市北区地域総務課

実施期間: 令和3年7月~令和4年3月



親子世代が楽しみながら防災・減災について学べるイベントを新しい防災訓練の考え方として地域に波及させていくことを目指して、自治協議会委員を対象とした研修会及びイベント当日の運営をサポートした。

終了後、市民への広報用報告書及び活動紹介パネルを作成した。



【イベント参加者の声】

- ・ダンボールでトイレやベッドも作れるのにとっても驚いた。(子ども)
- ・どのコーナーもとても勉強になりました。日頃から使えるものばかりなので子どもと一緒にやってみようと思いました！！(大人)
- ・はじめての参加で、知らないことばかりでした。消火器もジャッキもさわったこともなかった。(大人)



4. 安心安全なまちづくり支援事業

<北区防災士の会スキルアップ事業>

委託機関：新潟市北区地域総務課

実施期間：令和3年7月～8月



新潟市北区河川別ハザードマップを活用し、各地域への説明会や出前講座を北区地域総務課と北区防災士の会とで行うために、地域への説明資料の検討と作成、伝え方の練習会の企画・運営を実施した。

今後は、区と防災士と一緒に地域に出向き、河川別ハザードマップの説明や地区防災計画の作成を支援していく。

<在住外国人防災ワークショップ>

委託機関：長岡市国際交流センター

令和3年7月11日（日）9：30～11：30 会場：長岡市消防本部4階 対象：長岡市内在住の外国人等



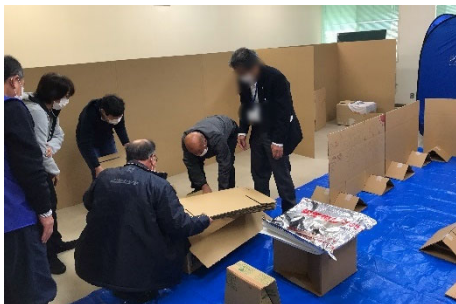
長岡市の在住外国人と日本人とが一緒に学ぶ防災講座を実施した。

令和3年度に完成した多言語版の洪水ハザードマップを活用したワークショップや家庭での備え、避難所の防災備蓄について皆で学ぶ機会を実施した。外国人と日本人の交流機会を通して、参加した日本人に支援者意識の芽生えを感じる場面も見られた。

<うおぬま防災ネットワーク防災研修会・訓練運営支援>

令和3年10月7日（木）14：30～16：30 及び 10月23日（土）12：30～15：00

会場：魚沼市小出公民館 対象：うおぬま防災ネットワークの会員及び魚沼市内の自治会長 等



うおぬま防災ネットワーク及び魚沼市が主催する魚沼市内の自治会長等を対象とした避難所開設訓練を行うために、避難所運営に関する事前勉強会及び訓練当日の講師と活動のサポートを行った。

事前勉強会では魚沼市の運営マニュアルを参考に、市の防災備蓄を住民と一緒に組み立てや、受付方法等の学習・体験会を行い、訓練当日はうおぬま防災ネットワークの会員が主体となって行う住民への説明や講座を支援した。

5. よりよい未来を創る事業

＜長岡市中越メモリアル基金事業＞ こども防災未来会議[®]2021 及び防災かべ新聞展示会の開催

令和3年12月12日（日）10:15～12:30 及び令和3年12月13日（月）～令和4年3月7日（月）

配信会場：長岡震災アーカイブセンターきおくみらい（Zoomでのオンライン開催＆YouTubeLiveでライブ配信）

参加者数：合計94名（内、会場での参加 51名、オンライン参加 43名）

YouTubeLive視聴者数：約200名（保護者等）



1. 防災かべ新聞コンクール表彰式・発表会

会場・オンライン上での表彰式を実施。グランプリチームの発表映像を上映し、子どもたちから「他の学校の人とはどんな新聞を書いたのか、何を伝えたいのかなど画面越しだけど知れて良かった」との声があった。

2. 2021年度こども防災未来宣言ディスカッション

～防災ワクワク化計画！親子が“楽しく”学べる防災訓練を考えよう！～



防災かべ新聞で学んできたことを振り返りながら、「親子で楽しみながら学べる防災」「その活動で伝えたいこと」をグループに分かれてアイデアを出し合った。

「水で作るカップラーメン体験・足湯コーナーづくりの体験→日頃から備える大切さや、工夫すればなんでもできることを知ってほしい」「プログラミングで防災ゲームを作る。避難所生活体験で中越地震を再現！→防災の大切さや防災の知識を持つことで、命を守る」などたくさんのアイデアが提案され、その提案を令和4年

3月に開催した「イザ！カエルキャラバン in ながおか」にて実現させた。



3. 防災かべ新聞展示会

中越（フェニックス大手イーストスクエア・長岡市社会福祉センタートモシア・アオーレ長岡）上越（かしわざき市民活動センターまちから）・下越（新潟ふるさと村）エリアの計5施設で、防災かべ新聞の展示会を実施した。

＜分水サミット企画書作成＞

委託機関：（株）エコロジーサイエンス 実施期間：令和3年7月～8月



令和4年8月に通水100周年となる大河津分水。

県内の信濃川流域（支流含め）市町村で川について学んだ小学校を集めて開催する記念事業の企画や進め方についての意見交換の場づくりと当日の企画書の作成を行った。

＜企業と連携した SDGs 講座の企画・実施＞

令和3年11月9日（水）13:00～15:00 会場：新潟市文化財センター

対象：越後天然ガス株式会社、上越市立大手町小学校 6 年生（53 名）



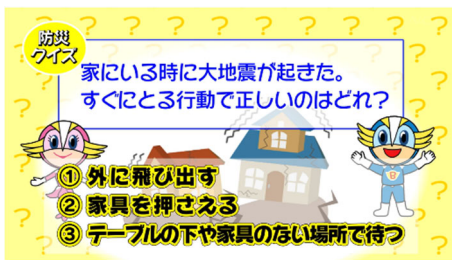
越後天然ガス株式会社から依頼を受け、上越市立大手町小学校の修学旅行のプログラムについて相談を受けた。

エネルギー事業者と子どもが未来のエネルギーについて考えるワークショップを企画し、実施した。

なお、これをきっかけに、同企業の小学生向け出前講座用プログラム2種（防災編・SDGs 編）の開発事業の獲得につながった。

6. 情報発信事業

株式会社 エヌ・シー・ティ 防災教育映像コンテンツの共同作成



ながおかケーブルテレビの放送地域の住民や子ども向けの防災教育に関する映像コンテンツを共同作成した。

「水害編」「地震編」「雪の事故防止編」の計3本の映像コンテンツを作成し、放送地域の住民や子どもに、防災をもっと身近に考える機会を提案した。

※作成した映像コンテンツは、当法人の YouTube チャンネルでも配信中

自主事業 商業施設を活用した移動販売や出前講座

令和3年12月4日（土）11:00～12:00 会場：コメリパワー長岡店



新型コロナウイルス対応新事業チャレンジ支援事業補助金を活用して改造したラッピングカー及び出前講座用の備品を活用し、非常食をテイクアウトランチとして販売する移動式防災カフェロドリを実施した。

荒天のため途中で中止となったが、約1時間で非常食が完売する等手ごたえを感じた。雪解け以降、開催頻度を増やしていきたい。

自主事業 長岡市内の防災教育サポーター紹介動画の作成

長岡市地域防災教育事業を支援してくださっている長岡市防災教育サポーターのPRを目的に、活動紹介動画やサポーターの紹介動画（計3本）を作成し、当法人の YouTube チャンネルにて配信した。



サポートに向けて打合せや練習会も行いました



地域サポーターの協力で体験活動も充実

令和3年度長岡市内では、
地域の方と一緒に
公立82校323回のサポート
（学校訪問・打合せ・資料提供・講師派遣等）
を実施しました。
ありがとうございました。

NPO法人ふるさと未来創造堂